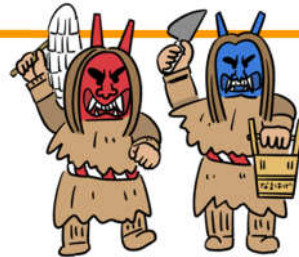




秋田！

7月上旬、秋田が大雨で床上浸水のニュースを見ました。その数は1000件を超えると報道されていました。そのニュースを見て、いてもたってもいられず、秋田のボランティア受付状況を確認しました。最近ではコロナの影響で県外市外からのボランティアの受け入れをしていない自治体も多いからです。ボランティアセンターの内容を確認すると、その様な記載はありませんでした。なので翌日、社長にお休みをもらえるか確認したら快くOKをいただけました。早速、ボランティアの申し込みをしました。あとは行き方と宿を押さえなくてははいけません。色々調べてみたら、セントレアから秋田空港の便を見つけました。すぐに往復の手配をして、次は宿探し…。どうせ疲れて寝るだけだからと、金額の安い宿を探したのですが、なかなか見つかりません。やっと1泊6000円の宿を

見つけたので、すぐに予約しました。これで準備はOK！いざ秋田へ！現地についてみると、一見すると街並みは普通な感じでした。思っていたより被害も少なく良かったな…なんて感じていました。昼に到着して、すぐにボランティアセンターに向かいました。最初に派遣された場所へ向かうと、川沿いのそのあたりは一带がひどい状況でした。お店も全滅で家の中も腰位の高さまで水が浸かった感じでした。秋田は今までの地域より高齢者の方も多く、住んでいる方だけで片付けるのは困難な状況でした。一番の問題だったのが家も広く、畳が多い事でした。畳は水分を吸うとめちゃくちゃ重くなるんです。水分を含んだ畳は1枚60～70kgほどになります。これを1枚外に運び出すだけでも腕が振るえてしまうのに、一部屋に10枚以上あります。それが何部屋も…。家具を全



部運びだし、畳を全部外に出したところには立つこともできません。しかもその日の気温は秋田でも34度…。汗が滝の様に流れて、服もビショビショでした。更に困った事に、秋田では別棟でお漬物を各家庭で作ったりもしています。大きな甕の中にたくさんのお漬物があったのですが、そのお漬物の汁も溢れて混じって、畳がそれを吸って、発酵した強烈な臭いを発していました。なので、その小屋は5分作業したら頭がクラクラする位の感じでした。もちろんマスクをしていたのですが、マスクなんて意味ない位に強烈でした。そんな状況の中、頑張っけてキレイにしました。あ！書く場所がなくなっていました…。続きは来月号で！（笑）

みんなのひとり言

今回は全編、秋田のボランティア編です(笑) 今回のボランティアが一番困ったのは言葉でした。秋田の高齢者の方は訛りがすごくて、正直、何を話しているのか全然わかりませんでした(笑) テレビでよく見た光景ですが「こうしてほしい」と話してくれるのですが、それが全然わかんないんです…。唯一わかったのは、こちらでいう「捨てる」は秋田弁で「投げる」です(笑) 最初、「これ投げといてくれればいから」と言われた時に外に投げるの？って真剣に思ってしまった(笑)



喜んでいただけました！のコーナー

秋田でのボランティア活動の余談です。ボランティアは大体1チーム10名程度で行います。ボランティアセンターで適当にチーム編成をします。今回も10人程度で作業をしていたのですが、地元の大生の子たちと一緒にしました。その子たちはとっても元気があり、笑顔で楽しく活動していました。大学名を聞くと国際教養大学(AIU)と教えてくれました。私はAIUを全然知らなかったのですが、後で調

べてみたら偏差値70位の超頭のいい大学でした。その子たちは被災されたおばあちゃんたちにも積極的に声をかけていて「おばあちゃん、暑いからちゃんと水分取ってね」とか「おばあちゃんはココで座って。私たちが片付けちゃうから、いらないのだけ教えてくれればいいよ」と優しく声をかけていました。そんな姿を見ていて、頭もいいし、なんて素敵な学生さんなんだろう…と凄く心を打た

れました。そしてその子たちと凄く仲良くなり、その日の夕食と一緒に食べる事になりました。秋田の日本酒をたくさん教えてもらって、みんなたくさん飲みました(笑) こんな素敵な学生さんと一緒に過ごせて、私もすごく喜んでしまいました。

今月の格言！

命ある限り
希望はあるものだ

(セルバンテス)

ホントに？ほんとに？

信じちゃいますよ！

私の夢も希望を捨てずに

待ちちゃいますよ。

私の夢は…大金持ちになる事

(小学生か！)